

平成 26 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

創立 118 年目の歴史を有する本校の公立高校としての役割は、生徒・保護者・地域のニーズに応じた生徒の進路実現を図り、地域・社会に有為な人材を育成することにある。「進学指導特色校」と「スーパーサイエンスハイスクール」としての責務を理解し、さらに充実した教育活動の展開を図る。

- 育てたい生徒像：岸高生の誇りを持った「爽やかで骨太」の人材
- 目標とする学校像：生徒・教職員がともに成長する「学びの時空間」

このような観点から、「教科学習だけでなく、すべての教育活動を通じ、生徒・教職員がともに成長する学校（時空間）」をめざす。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

新学習指導要領を踏まえ、「充実した授業」をめざし、一層の授業改善に取り組む。

(1) 「充実した授業」をめざし、授業改善に取り組む。

- ア 生徒による授業評価（年 2 回）を行い、教科別に授業公開週間と研究授業を設定
 - イ ICT 機器を活用した教育の推進
 - ウ 英語の運用能力の向上
 - エ 土曜日を活用した講習・学習指導など、教科学習を補完する活動の充実
 - オ 進学指導特色校（GLHS）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の効果的な運営をすすめる校内組織の充実
 - カ 「岸高教育コレクション」（「解体新書」（初版本）などの文献、生物剥製・骨格標本、物理実験具、史料等）の活用
- ※（生徒向け）学校教育自己診断における学校満足度や授業満足度 80% 以上をめざし、3 年後に 90% 以上をめざす。

2 高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み

殆どの生徒が 4 年制大学への進学を希望する本校にあって、充実した学校生活の結果として「進学」を捉え、進学実績のみを求めのではなく、世界に通じるとともに地域に対する深い愛情をもった高い志をもつ人材を育成する教育を推進する。

(1) GLHS、SSH 事業を活用し、興味関心を高める教育活動を提供する。

- ア 大学研究室見学や大学関係者・科学技術者・企業家等による出前講義・講演等による体験的キャリア教育を進展
- イ 課題研究発表などプレゼンテーション能力の育成

(2) 現役での国公立大学進学者の合格者数を 3 年後に 150 人以上、あわせて難関大学や東京方面への受験者増をめざす。

※（生徒向け）学校教育自己診断における進路指導の満足度 80% 以上を維持し、3 年後に 90% 以上をめざす。

3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取組み

充実した学校生活こそが、卒業後の力の源になることから、学校行事・部活動等の一層の充実を図る。また、異文化交流による豊かな心と広い視野、通じる心とコミュニケーション力の育成を図る。

(1) 学校行事・部活動等の充実を図る。

- ア 学校生活の充実と行事の精選
- イ クラブ活動の奨励
- ウ 社会人としての人権意識・マナーの醸成

※（生徒向け）学校教育自己診断における学校行事やクラブ活動の満足度 90% 以上を維持する。

(2) 異文化交流による国際教育を推進する。

- ア 国際交流、海外修学旅行（台湾）の充実
- イ 海外交流校の発掘と交流

※（生徒向け）学校教育自己診断における国際（理解）教育の満足度 80% 以上を維持し、3 年後に 90% 以上をめざす。

4 地域・保護者との連携と環境整備

全国の学校情報を収集し、地域や保護者に積極的に情報を発信する。また、学習環境の向上をめざし校内環境整備を継続する。

(1) 学校情報を収集し、地域や保護者に情報を発信する。

- ア 全国の教育先進学校情報の収集
- イ 学校 Web ページや校長ブログによる情報の発信

(2) 校内環境整備を継続する。

- ア 学習環境の向上と校内緑化の推進
- イ 地域への貢献を推進

※（保護者向け）学校教育自己診断における情報提供の満足度 90% 以上を維持する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 26 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見																																	
<p>・学校経営計画で、評価指数としている学校教育自己診断の項目について</p> <p>◎1年2年3年3つの学年の合計 肯定的な意見の割合</p> <table border="1" data-bbox="155 350 863 863"> <thead> <tr> <th>質問項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入学して満足している (⊕)</td> <td>89.1%</td> <td>84.8%</td> </tr> <tr> <td>入学して満足して生活している (保)</td> <td>94.5%</td> <td>93.3%</td> </tr> <tr> <td>授業に満足している</td> <td>77.2%</td> <td>74.5%</td> </tr> <tr> <td>学校行事に楽しく参加している (⊕)</td> <td>91.4%</td> <td>89.7%</td> </tr> <tr> <td>学校行事に楽しく参加している (保)</td> <td>97.5%</td> <td>96.6%</td> </tr> <tr> <td>土曜講習や千亀利セミナーに積極的に参加している</td> <td>47.9%</td> <td>41.2%</td> </tr> <tr> <td>校長ブログで学校の様子が発信されている (⊕)</td> <td>84.2%</td> <td>77.2%</td> </tr> <tr> <td>校長ブログで学校の様子が発信されている (保)</td> <td>96.6%</td> <td>91.6%</td> </tr> <tr> <td>進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (⊕)</td> <td>85.7%</td> <td>85.5%</td> </tr> <tr> <td>進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (保)</td> <td>89.3%</td> <td>94.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○生徒と保護者に同様の質問では、保護者の方が肯定的に捉えている傾向がある。 土曜講習や千亀利セミナーに積極的な参加について検討したい。</p> <p>○国際交流など特色のある教育活動への取組みに関しては(⊕)80.3%→87.4% (保)94.3%→97.8% となっており、国際交流に関しては、学校協議会での意見にあるように充実してきたと評価されている。</p> <p>○入学と授業の満足度についても、1年生の満足度について分析検討したい。</p>	質問項目	H25	H26	入学して満足している (⊕)	89.1%	84.8%	入学して満足して生活している (保)	94.5%	93.3%	授業に満足している	77.2%	74.5%	学校行事に楽しく参加している (⊕)	91.4%	89.7%	学校行事に楽しく参加している (保)	97.5%	96.6%	土曜講習や千亀利セミナーに積極的に参加している	47.9%	41.2%	校長ブログで学校の様子が発信されている (⊕)	84.2%	77.2%	校長ブログで学校の様子が発信されている (保)	96.6%	91.6%	進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (⊕)	85.7%	85.5%	進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (保)	89.3%	94.4%	<p>・第1回 5月28日</p> <p>Q：文理学科設置によって、学力の高い層の入学が定着しているようだが、上位層を伸ばして行く指導にどう取り組んでいるか。</p> <p>A：東大・京大・医学部進学希望者に対するPT講習を実施している。</p> <p>意見：人材育成プログラムを生徒に示すことも有効かつ必要ではないか。高い学力の生徒を預かっているという教員の意識を高く保つことも必要だ。</p> <p>A：各学年で土曜日を利用して講習をしていただいている。先日も1年の英語科の講習に多くの生徒が参加していた。各教科が、それぞれの学年で生徒につけさせたい力のレベルを設定し、共有することが大切と感じている。</p> <p>意見：岸高の先生方は、よくやっていると思う。</p> <p>・第2回 10月8日意見：国際交流に関しては2年前から比べると、よく頑張っているし、順調に進んでいる。同窓会の基金は必要。協力してくれるのではないか。「国際化」は、このまま軌道に乗って行くのではないか。</p> <p>意見：先生方の取組みは本当によくやっている。今後は、整理して洗練していくことも必要ではないか。</p> <p>意見：ボランティアは、1年生の夏休み等を使って、工夫次第でできるのでは。</p> <p>意見：教育理念「確かな学力」「高い志と進路実現」「豊かな感性・健康と体力」を、様々な取組みに落とし込む工夫すると弱点が見え、保護者への説明もしやすくなる。優秀な生徒をどのように伸ばして自己実現させるのが大切。</p> <p>第3回2月4日</p> <p>・平成25年度GLHS卒業時のアンケート集計結果報告 意見：「海外の大学進学」「世界で活躍できる人」などの回答の数値の高さはすばらしい。先生方の努力とそれに応える素直な生徒の様子がうかがえる。</p> <p>・探究・SSH生徒研究発表会の報告 意見：お堀の調査等は、岸和田にふさわしくこれからも継続してほしい。地域への公開等は考えているのか。 A：初めて保護者への公開を始めたばかり。一般への公開は、桜祭などでポスターを展示するなど検討したい。</p> <p>・学校教育自己診断の結果 意見：生徒の「岸高入学満足度」「授業満足度」の数値については、分析検証する必要がある。 意見：教職員の結果で「教材の精選・工夫」「指導方法の工夫・改善」で数値が上っている。先生方が努力している表れである。教員の努力と生徒結果の「授業・部活動に熱心な先生」の数値との比較分析も必要である。</p>
質問項目	H25	H26																																
入学して満足している (⊕)	89.1%	84.8%																																
入学して満足して生活している (保)	94.5%	93.3%																																
授業に満足している	77.2%	74.5%																																
学校行事に楽しく参加している (⊕)	91.4%	89.7%																																
学校行事に楽しく参加している (保)	97.5%	96.6%																																
土曜講習や千亀利セミナーに積極的に参加している	47.9%	41.2%																																
校長ブログで学校の様子が発信されている (⊕)	84.2%	77.2%																																
校長ブログで学校の様子が発信されている (保)	96.6%	91.6%																																
進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (⊕)	85.7%	85.5%																																
進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (保)	89.3%	94.4%																																

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 確かな学力の育成</p>	<p>(1) 「充実した授業」をめざし、授業改善に取り組む。 ア 生徒による授業評価（年2回）を行い、教科別に授業公開週間と研究授業を設定 イ ICT機器を活用した教育の推進 ウ 英語の運用能力の向上 エ 土曜日を活用した講習・学習指導など、教科学習を補完する活動の充実 オ 進学指導特色校（GLHS）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の効果的な運営をすすめる校内組織の充実 カ 「岸高教育コレクション」の活用</p>	<p>ア・「生徒による授業評価」を5月、12月に実施し、授業改善に活かす ・教科別に1週間の公開授業週間を設定し、他教科（特に経験の少ない教員）への授業参観を促す。 ・初任者や若手教員を組織的に育成する。 ・3年間の生徒育成プログラムの作成 イ 1・2年生のHR教室へのICT機器の導入とICT機器を活用した教育を促進する ・ICT機器利用のサポート（研修等） ウ 英語能力試験などへの意欲喚起を行い、英語会話能力の向上を図る。 ・英語能力試験受験の奨励 ・英語道場（TOEFL）の充実（インテンシブ英語研修とリンク） ・英語インテンシブ研修の実施 ・海外（オーストラリア）語学研修の実施 エ・土曜の午前は、生徒の「学習タイム」とし、講習等を行う（クラブ活動等は午後から） ・昨年度からの「特進ゼミ」を継続し、2年生の「課題研究」・「国際総合」と1年生の講習との棲み分けを行う オ 校内組織「プロジェクト26」での校内の課題整理と将来構想を検討する カ 「岸高教育コレクション」（岸和田市有形文化財）の授業や講習等へ活用する</p>	<p>ア・2回の生徒による授業評価と教科別の公開授業週間を実施し、授業改善をすすめる、生徒による授業評価における授業満足度80%以上をめぐす ・各教員が他の教員2人以上の授業観察を行う イ ICT機器の授業活用を把握し、利用率30%以上をめぐす ウ・英語能力試験受験者数の増加（平成26年度は80名が目標） ・英語道場（TOEFL）の参加者40名を維持する ・英語インテンシブ研修参加者の増加（50名以上をめぐす） ・海外（オーストラリア）語学研修の30名以上を維持する エ 学校教育自己診断において、土曜講習への積極的な参加50%以上をめぐす オ 「プロジェクト26」の運営状況の把握（週1回の定例の開催をめぐす） カ 授業や講習での感想をとおして評価の向上をめぐす</p>	<p>・「生徒による授業評価」を2回実施（○） ・授業公開週間を6回実施し、研究授業では、外部見学者を交えた授業改善の協議を6回行う。（○） ・授業満足度 75%（△） ・公開授業週間を利用し他教科授業観察を2人以上行う。（○） ・初任者校内研修（2年目3年目10年目との交流研修を実施）（○） イ 授業活用利用率 46% ・前倒しで、1年2年の教室にICTを一気に導入全学年で、2学期から使用開始。（◎） ・ICTのサポート研修2回実施（○） ウ・英語能力試験受験者数は、82名（○） ・TOEFL講座の参加者 36名（△） ・英語インテンシブ研修は、予算の関係で夏のみになり、冬に英語力とグローバルリーダーシップ養成のためのエンパワーメントプログラムを新規導入参加者数は、合計 58+39=97名（◎） ・オーストラリア語学研修は、30名参加（○）申し込み者は、61名に増加 エ 土曜講習への積極的な参加 41.2%（△） オ 「プロジェクト26」週1回の定例開催（○）1月の探究SSH発表会の保護者への公開（◎） カ 研究授業での「解体新書」等の活用で、生徒が興味関心を深めたという感想を得た。（○）</p>
<p>2 高い志をばぐくみ、進路実現をめざす取組み</p>	<p>(1) GLHS、SSH事業を活用し、を活用し、興味関心を高める教育活動を提供する ア 大学研究室見学や大学関係者・科学技術者・企業家等による出前講義・講演等による体験的キャリア教育の進展 イ 課題研究発表などプレゼンテーション能力の育成 (2) 現役での国公立大学進学者の合格者数を3年後に150人以上、あわせて難関大学や東京方面への受験者増をめざす。</p>	<p>(1) ア さまざまな分野の調査・研究の課程や分析等に興味関心を持たせる ・SSH事業と絡めて、大学関係者の出前講義や研究室の見学 ・科学技術者・企業家等による講演 ・「課題研究」「探求」「総合的な学習の時間」等での社会人講師活用 ・JAXA、JAMSTEC等の研究施設訪問 ・OCWやMOOCSの検討 イ プレゼンテーション能力の育成 ・学校行事 ・「課題研究」や「国際総合」などの発表 ・SSH、GLHS関連の研究発表大会の開催 (2) 現役での国公立大学への合格数が増えるよう学校として支援 ・生徒、保護者への進学説明会の充実 ・東大・京大キャンパスツアーの実施 ・土曜日の学習タイムの充実 ・学校休業日の学習スペースの開放 ・長期休業期間の効果的な講習計画 ・各種業者模試の情報提供 ・PTAによる支援</p>	<p>(1) ア SSH事業アンケートにおける満足度を測定し、満足度75%以上をめぐす イ 探究発表会での発表本数を70本以上を維持する (2) 現役での国公立大学合格者数が120人以上（平成24年度124人）をめぐす ・（保護者向け）学校教育自己診断結果における進路情報の満足度の90%以上を維持する</p>	<p>ア SSH事業アンケート満足度 79%（○） ・1、2年出前授業を8月に実施。大阪大副学長他26講座実施。（○） ・6月に、岸和田高校出身の科学者を招へいし、これをきっかけに、12月にiPS細胞研究所への見学研修ツアー（25名）を実施。（◎） ・8月サイエンスツアーでJAXA等訪問 ・MOOCSについては、紹介に留まっている。（△） イ 探究発表会 74本（○）今年度から探究発表会を保護者に公開（○） ・台湾修学旅行で、姉妹校と研究を相互発表（英語で発表）（○） ・3年キャリアスタートゼミの口頭発表会の開催し、2年生にも参加させレジネスを育成（○） (2) 現役での国公立大学合格者数が106人（△） ・左記の具体的な取組みを充実させて実施し、保護者の大阪大学見学会の実施が行われるなど高い志を持てるような進路の生の情報を提供する機会が増えた。（○） （保護者向け）学校教育自己診断結果における進路情報の満足度 94.4%（◎）</p>

府立岸和田高等学校

<p>3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取り組み</p>	<p>(1) 学校行事・部活動等の充実を図る。 ア 学校生活の充実と行事の精選 イ クラブ活動の奨励 ウ 社会人としての人権意識・マナーの醸成 (2) 異文化交流による国際教育を推進する。 ア 国際交流、海外修学旅行(台湾)の充実 イ 海外交流校の発掘と交流</p>	<p>(1) ア・各行事の精選を行い、文化祭・体育祭・鍛練遠足・合唱コンクール等の行事の充実 ・生徒の特別活動意欲喚起のため、新たな岸高グッズの作成 ・社会人としての規範意識の醸成のため継続的なマナー指導 イ・クラブ活動への入部を奨励 ・クラブ活動振興のため社会人講師の活用 ウ・社会人としての人権意識の涵養と生活マナーの向上 ・人権教育の推進のための教職員や生徒への研修の実施 ・挨拶運動をはじめ、定期的な遅刻や服装指導を行う ・外部のカウンセラーを活用し、精神的ケアの必要な生徒に支援を行う (2) ア・異文化交流による国際教育、海外修学旅行での学校交流の充実と継続 ・各学年分掌に海外交流担当を設定 ・海外交流校の発掘と交流の推進(姉妹校提携などの模索) ・海外視察校の受け入れ ・短期留学生の受け入れ</p>	<p>(1) ア・行事アンケートの満足度の把握し、満足度 80%以上をめざす イ・クラブ活動入部率 90%以上を維持する ・(生徒向け) 学校教育自己診断結果における学校の満足度 80%以上を維持する ウ・生徒への人権アンケートの経年変化により、人権意識の醸成を検証する ・総遅刻数を 2,000 回以下をめざす (2) ア・台湾修学旅行(2年)の参加者 100%をめざす ・海外からの訪問校を 3 校以上誘致する ・海外の高校との連携校 2 校目をめざす</p>	<p>・文化祭、体育祭、鍛練遠足、合唱コンクール等行事アンケート 満足度 96.6 % (○) ・運動部活動以外にも SSH 関連の発表入賞等のコンテスト入賞者にも岸高グッズを贈呈 (○) ・朝の毎日の挨拶運動の継続実施 (○) イ・クラブ活動入部率 97% (○) ・校長マネジメント費で社会人講師を雇用しクラブ活動指導者の確保によりクラブ活動入部率 90%以上を維持できた。 ・学校の満足度 84.8% (○) ・生徒対象にしたスマホなどでの SNS 利用等、情報モラルの研修の実施で、情報モラルにまつわる大きなトラブルの未然防止ができた。(○) ・生活指導部による遅刻指導、服装指導の定期的な実施で、総遅刻数は、1996 回(3 学期末) (○) ・SC カウンセラーとのケース会議で細やかな個別指導がさらにできるようになってきた。(○) (2) ア・不参加者は、やむを得ない理由の 2 名のみ (○) ・海外交流協力の協力で、学校交流等を実施 (○) ・訪問は、台湾、インドネシア、オーストラリアアメリカ 5 回 (○) ・韓国の学校からの姉妹校申し入れがあり、提携に向けて調整中 (○)</p>
<p>4 地域・保護者との連携と環境整備</p>	<p>(1) 学校情報を収集し、地域や保護者に情報を発信する。 ア 全国教育先進学校情報の収集 イ 学校 Web ページや校長ブログによる情報の発信 (2) 校内環境整備を継続する。 ア 学習環境の向上と校内緑化の推進 イ 地域への貢献を推進</p>	<p>(1) 情報発信 ア・全国の教育事例の情報収集 ・全国SSH研究発表会への参加 イ・学校 Web ページの最新情報の更新 ・メールリストによる情報発信の継続 ・「校長かわら版」(ブログ)による情報発信 (2) 校内環境 ア・選択教室やHR教室への ICT 機器設置 3 年計画の 2 年目 ・校内緑化 ・ゴーヤによる緑化と冷房効果の検証実験 ・(危機管理) 津波・地震時の危機管理体制の再構築 イ 地域貢献の継続推進 ・岸高桜祭、CASTLE RUN (青年会議所)、岸城神社の絵馬などの地域イベントへの協力</p>	<p>(1) ア、イ・(保護者向け) 学校教育自己診断結果における情報共有満足度 90%以上を維持する ・メールリストの送信回数維持(平成 25 年度メール一斉送信、年 100 回) ・「校長かわら版」(ブログ)の更新を月 20 回以上 (2) ア・2 年 HR 教室に ICT 機器の設置 イ 桜祭の来校者 100 人以上をめざす</p>	<p>(1) ア、イ 情報共有満足度 91.7 % (○) ・堀川高校の SSH 研究発表の視察と職員会議会を利用した情報の共有。(○) ・全国SSH研究発表会へのポスター参加 (○) ・web ページは、適宜更新 (○) ・メールリストの送信回数約 100 回 (○) ・「校長かわら版」(ブログ)の更新を月 25 回以上語学研修や修学旅行でのブログは保護者の方に好評 (◎) (2) ア、2 年だけでなく、1 年にも設置。(◎) イ・桜祭り来校者 260 人 (○) ・岸和田市主催の CASTLE RUN の実施に陸上部員が協力し円滑に運営することで地域への貢献ができた。(○)</p>